

MACHINE TOOL FORUM



**Good Tool!
Good Machine!
Good Factory!**

挑戦の中に
感動ある未来を

マシンツール・フォーラム

新年あけまして
おめでと〜うございます。



旧年中は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございました。

敢えてここで、今年のスローガンを掲げ、当社
今年一年の心意気をぜひお伝えしたく採り上げて
みました。

決して「うわべだけにならないよう、お客様のお役
に立ち喜んで頂ける」ことを常に心がけ、地道に、
そして何より誠実に努めて参ります。
今年もどうぞよろしくお願ひします。

2011年スローガン

巧詐は拙誠に如かず

巧 詐 不 如 拙 誠

(韓 非 子)

「巧詐」とは、巧みに表面を取り繕い上手く立ち回るようなやり方のことで、一時的には素晴らしい策のように思えるが、長い間には却って周囲の反発を買う危険性が高い。

これに対して、「拙誠」とは拙くても心のこもったやり方のことで、愚直かもしれないが、後にはじわじわと多くの人の心を掴むことが出来る。たとえ拙くとも誠実に対応して行く方が、時を経ればはるかに勝り最終的には人望と支持を集めることができよう。



市場開発部の流れを汲み、平成十九年に開設したFAシステム部。ISO 14001への取り組み、生産技術セミナー、そしてFAが当社の「強み」としておかげさまで今では、日々お客様にいろいろなご相談を頂けるようになりました。

当社で開発した知的財産の申請も四件を数え、「オリンピック挿入機」などのヒット製品を生み出して来ました。発案者は、技術部長の後藤。彼の独特の考えているときのスタイルは社内でも何かとネタにされました。デスクで居眠りをしているのか、と覗き込めば、もちろんそうではなく、彼の体の奥底(どこなのかは分らないが)から頭へと沸々とアイデアが沸き上がり満たされるのを待っているのだそうです。お酒も大好きな彼なので、昭和四十年代のトリスウイスキーの呑むほどに顔が赤くなるCMを思い出させますが…。彼の一大トピックスは、一日に二箱ほど空けていたタバコをピタリとやめてしまったこと。これで、FAシステム部での喫煙者はゼロとなりました。

FAシステム部通信

技術部長 後藤隆弘



生産技術セミナー

Panasonic
ideas for life



一月度の生産技術セミナーでは、一月二十六日にパナソニック電工SUNX株式会社 竜野工場様を訪問します。同社では、「電力の見える化」を具体的に実践する普段の姿をご覧頂けます。

同社が開発した「エコパワーメーター」を導入することで見えてくるのが「習慣のムダ」、「チリも積もれば」型のムダ、過剰設備等のムダ…とのこと。省エネ活動は、まず「木をじっくり見てから森を見る」のが基本だと教えてくれます。

昨年、冬季号では今年上半期の計画をお知らせしましたが、生産技術セミナーの月次開催を開始して満四年を迎え、お客様の個別のニーズにも対応すべく、出張セミナーも視野に入れて取組みを続けていきます。開催日が予定と合わない、平日はとも出掛けれられない、というお客様は、ぜひご要望をお知らせください。

本社に営業Ⅲ部を開設

昨年十月に本社営業Ⅲ部を設置しました。営業Ⅲ部は取締役 営業統括 笹倉が部長を務め、徳島営業所の松岡が営業Ⅲ部 課長を兼任します。より柔軟にお客様のニーズに対応できるよう努めて参ります。

176 コミュニケーション

先日、感心したことがあった。電車の中で女子高生と思しき二人が会話していた。勉強、部活、先輩といかにも女子高生らしい何の変哲もない話題ばかりだったが、私が感心したのはその内容ではない。私とその仲良し同級生が乗車していたおよそ三十分間、会話が片時も途切れなかったということだ。

こういった会話術(?)は女性の特技かもしれない。年季の入ったオバサンになるとさらに凄まじくなる。オA「普さんもあかんなあ」↓オB「小沢さんもたいがいにせんとなあ」↓オA「この前うちのお父ちゃんが腰ゆわせてしもてん」↓オB「うちも最近老眼がきつくなつてなあ」↓オA「それにしても前原さんは男前やなあ」・・・多少の誇張はあるが、これはほぼ実話である。少なくとも一〇分程度の間で、政治家の話題と健康の話題をトリッキーにかつ脈略もなく転換しつつ、延々と話続けていた(尤も、これを会話といえるかどうか)。

翻つて、これが男子高校生の場合だったらどうか。会話がすぐに途切れる場合が多いのではなからうか。例えばこんなパターンである。A「もうすぐ期末試験やなあ」↓B「そうやなあ」↓A「勉強したか?」↓B「してへん」・・・ここで途切れる。

このように会話が続かないひとつの原因はA君の質問の仕方にある。つまり、相手がYes/Noで答えてしまい勝ちな「閉じられた質問」をしてしまっているということだ。これを、「今度の物理あかんわ。どないしよう?」といった「開かれた質問」とするとB君の反応も違つたはずだ。



B君の答え方にも原因がある。最低限の回答しかしていない。つまり、会話に「おまけ」が一切ないということである。A君の質問に対し、ただ「してへん」だけでなく、「まだしてへんけど、今度は楽勝みたいやで」といった具合にすると、「ほんまか?」あるいは「ウソこけ!」と会話が続く。

会話は、コミュニケーションの基本であるが、商売に似ている。一方が相手に話をする。これは品物を売ることであり、相手がその話に乗ることは品物の代金を渡すことと同じだ。相手からたくさん代金、つまりレスポンスを受け取るためには、それなりの工夫が要る。これが「開かれた質問」だ。また、品物に応じた代金だけを払っておしまいなのではなく、たまにはチップを弾む、これが会話の「おまけ」だ。

普段のコミュニケーションのちよつとした心掛け次第で会話の幅は広がり、ひいては意思疎通、相互理解、円満な人間関係にもつながるはずである。隣席の上司や同僚にもメールするこの時代、今年はせめて、潤いのある会話を心掛けよう、と口下手の筆者は年頭に誓つた次第である。

(酔猫)

姫路城 平成の大改修

昨年十二月時点での素屋根建設工事は、鉄骨の建て方が完了し壁面シートの張り付け作業が行われました。十二月末現在、東西、北面が終了しており東面にはすでに線画で描いた実寸大の姫路城が姿を現しています。

年明け元旦は無料公開、二日、三日の両日は先着五百名に「しろまるひめ」のタオルがプレゼントされるそうです。

四十五年ぶりの本格修理となる世界遺産の大規模な改修工事ということで、工事現場は原則公開となります。

お正月に姫路城を見られないのは残念ですが、春には素屋根の中から修理工事の様子や大天守上層部の外観を間近に見れる見学コースがスタート予定です。



▲ 昨年12月20日過ぎの姫路城。実寸大の姫路城が描かれている。

編集室より

新年あけましておめでとうございます。

表紙の上段に使っている「挑戦の中に感動ある未来を」は、当社の昔からのキャッチコピーですが、新年号でこのキャッチコピーを改めて読むと、何かとても新鮮な気分になります。このコピーには何か、「自分を変えてみよう」、「頑張ってみよう」という能動的な気分にしてくれるものを感じます。

当社の様な生産財専門商社の仕事は、当然、技術のポートであるお客様に技術的ノウハウで適う訳がないのですが、提案なくしては誰でも代わりができる御用聞きになつてしまいます。技術がめまぐるしく進化する中、常に勉強し挑戦せねば私たちに未来はないことを自覚し、この年をスタートしたいと思えます。

中川量夫

YMTF

マシンツール・フォーラム

2011年1月1日号 VOL.70-No.7
株式会社ヤスヒラ 営業企画室
〒670-0981 姫路市西庄甲108
TEL. 079-294-4000
E-Mail : kikaku@yasuhira.com

株式会社ヤスヒラ

本社 〒670-0981 兵庫県姫路市西庄甲108

■ 本社営業部	TEL. 079-294-4000	FAX. 079-294-4001	■ FAシステム部	TEL. 079-294-6633	FAX. 079-294-3998
■ 機械営業部	TEL. 079-294-4011	FAX. 079-294-4066	■ 明石営業所	TEL. 078-948-5544	FAX. 078-948-5545
■ 管理部	TEL. 079-294-4300	FAX. 079-294-3993	■ 徳島営業所	TEL. 088-683-1338	FAX. 088-686-1550
			■ 山形オフィス	TEL / FAX. 0237-43-5811	